



奨励賞



田んぼの学校(稲の幼穂について学習)

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

当麻土地改良区

【当麻町】

田んぼの学校、郷土を愛する健全なこころを育む

はじめは？

平成11年から小学生や町内在住の60歳以上の住民を対象とした土地改良施設見学会を町主催で実施していましたが、平成14年から休止していました。土地改良区ではこの取組を引き継ぎ、土地改良施設や農業農村の持つ多面的機能について子供たちを通じて広く地域の人々に理解してもらうことを目的に田んぼを総合学習(教室)の場とした「田んぼの教室」を平成15年に創設し、行政及び関係団体、小学校と連携して実施しています。

おもな活動

①田んぼの教室の実施

第1回 小学校での出前教室を開催し、農業者が作成した映像を見ながらお米作りについて学習。コロナウイルスの影響によるイベント中止を考慮し、田植え機操縦等の様々な農作業をGoPro(ウェアブルカメラ)やドローンで動画撮影し、子供たちのために映像を作成しました。

第2回 稲と田んぼに棲む生き物観察、益虫や害虫について、減農薬で安心・安全なお米作り、農家の減少や高齢化等の日本の農業の問題、地産地消、農業・農村の持つ多面的機能等について学習しました。

②土地改良施設見学会

当麻町教育委員会の協力により、スクールバス3台を無償でお借りし、見学会を開催しました。



頭首工の見学会

ここが自慢

【田んぼの学校(総合学習)の長期継続による活性化】

田んぼを総合学習(教室)の場とした「田んぼの教室」は平成15年に創設され17年目を迎えています。平成27年度より当麻の子供達が食と農の教育体験を通じて、ふる里を理解し郷土を愛する心を育む食農施設「当麻町田んぼの学校」が開校し、町内の小学3年生から中学3年生までの約320名とボランティアスタッフ合わせて総勢500名以上で町民田植祭と町民収穫祭を開催しています。実行委員には土地改良区、行政や関係団体の他にJA当麻女性部や女性団体連絡協議会、ボランティアの会等女性団体も新たに加わり、町内の児童生徒と町民が共同で農作業を行い、その後に食事を共にすることで、子ども達の食育と地域農業への理解を深め、郷土を愛する健全な心を育てています。



田んぼの学校
(学習映像の一コマ)

連絡先

代表者名：理事長 太田正人さん／設立：1969年／会員：50名

住所：北海道上川郡当麻町4条東3丁目4番63号

電話番号：0166-84-2231 (総務課 山下課長)

F A X：0166-84-2232

E-mail：yamasita@tohma-kairiyouku.or.jp

U R L： -